

アリーナ機能を中心とする複合施設整備検討事業
「基本的考え方」

令和2年2月
南信州広域連合

○「基本的考え方」(案)からの検討経過

- 平成31年2月に公表した「リニア時代に向けた新施設の整備に関する『基本的考え方』(案)」の内容や今後検討を要する論点について広く意見を伺い、意見・提案を参考とし検討した結果、次ページ以降のとおり整理した。
- パブリックコメント 令和元年6月1日～28日 コメント数8件
- 住民説明会 令和元年6月22日(土) 参加者39名
- 検討委員会【リニア時代に向けた新施設の整備に関する検討委員会】
令和元年6月27日(木)～11月14日(木) 4回開催
構成 利用が想定される団体3名、有識者4名、地元関係者11名、
学生6名、公募2名 計26名
- 広域連合議会「南信州広域連合が計画するアリーナ機能を中心とする新施設整備に関する意見書」
令和2年1月28日(火)

○日本・世界における伊那谷・南信州

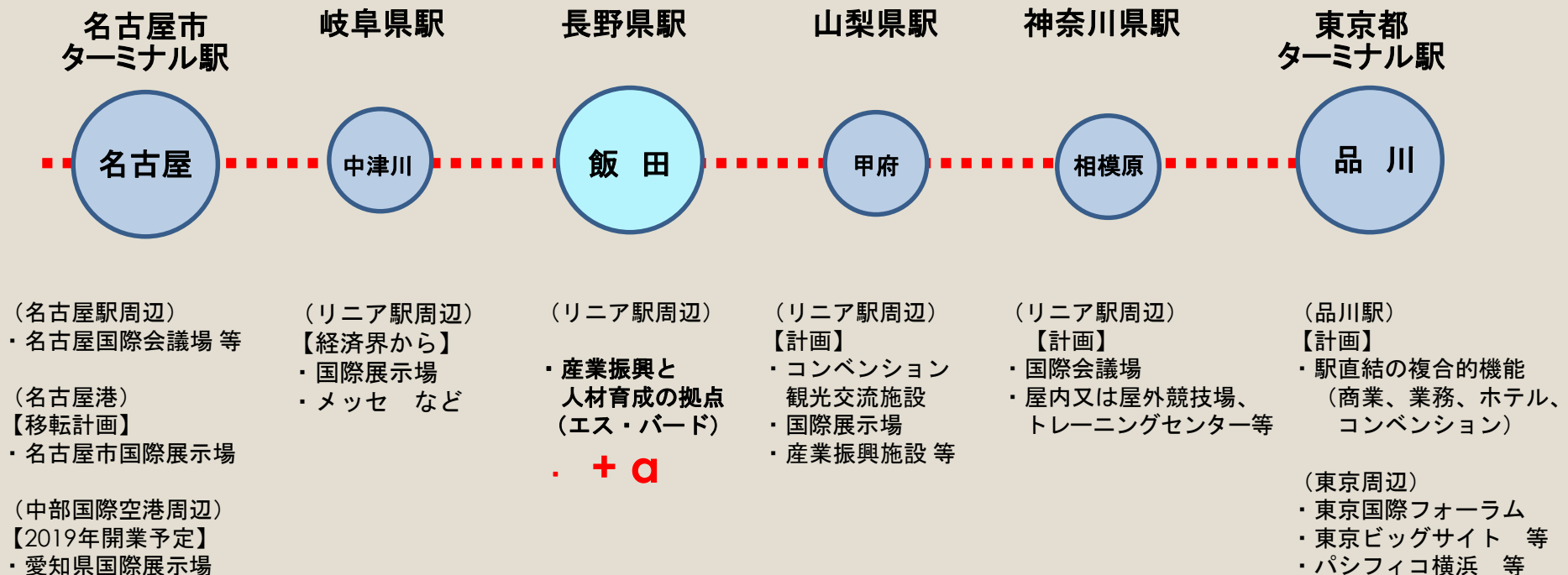
- ・リニア時代に向けては、「スーパー・メガリージョン」「ナレッジ・リンク」の中で、日本全体さらには世界に対して存在価値を発揮できるか、という視点が不可欠



伊那谷・南信州全体で「田園型の学術研究都市」を目指す

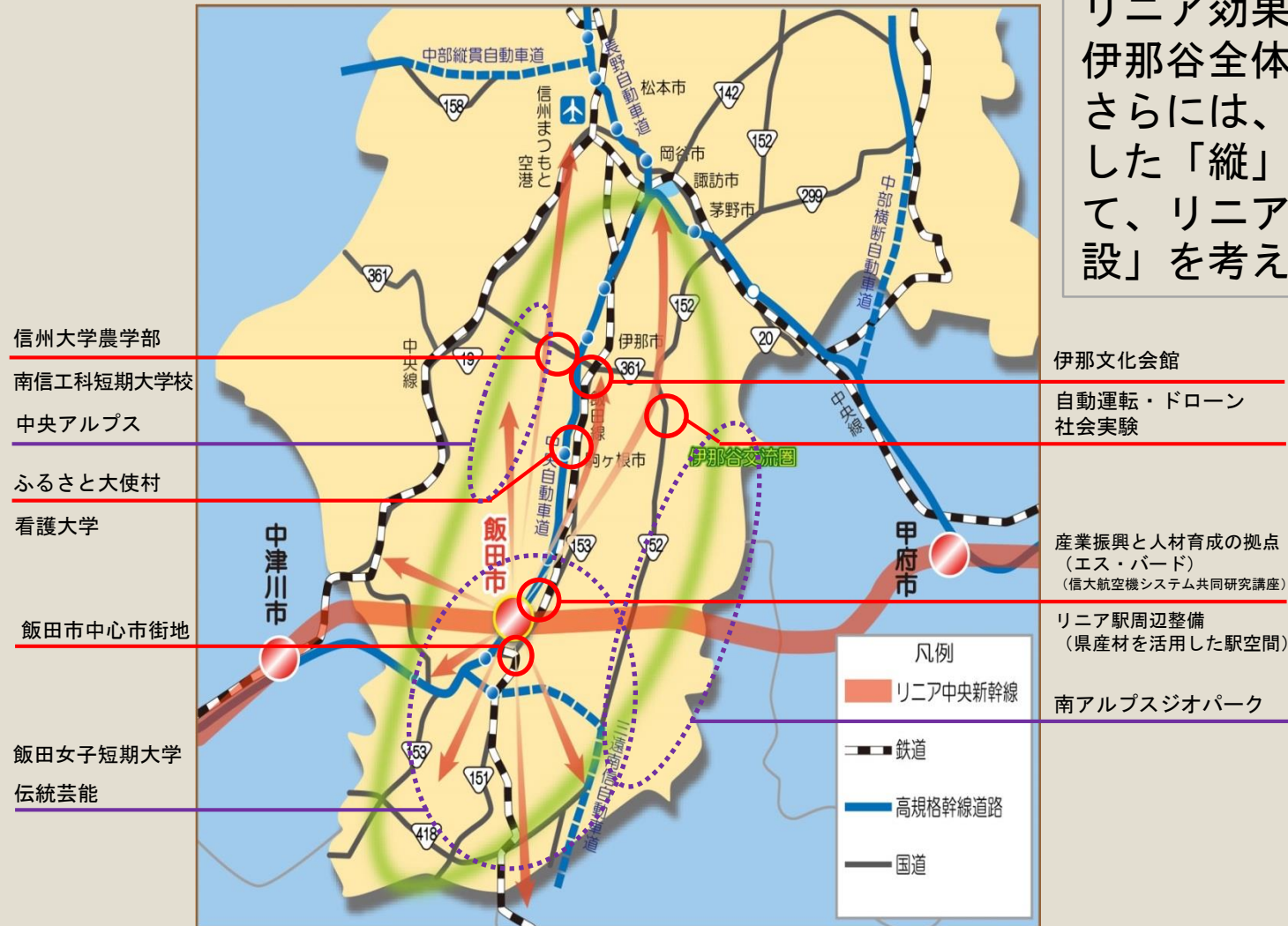
○リニア沿線における伊那谷・南信州<横軸>

- ・リニア沿線都市では「コンベンション」を強く意識した構想が進んでいる
連携と差別化を考え、「長野県らしい・伊那谷らしい」アプローチが必要



○長野県・伊那谷における連携軸<縦軸>

(伊那谷の各種施設等との連携例)

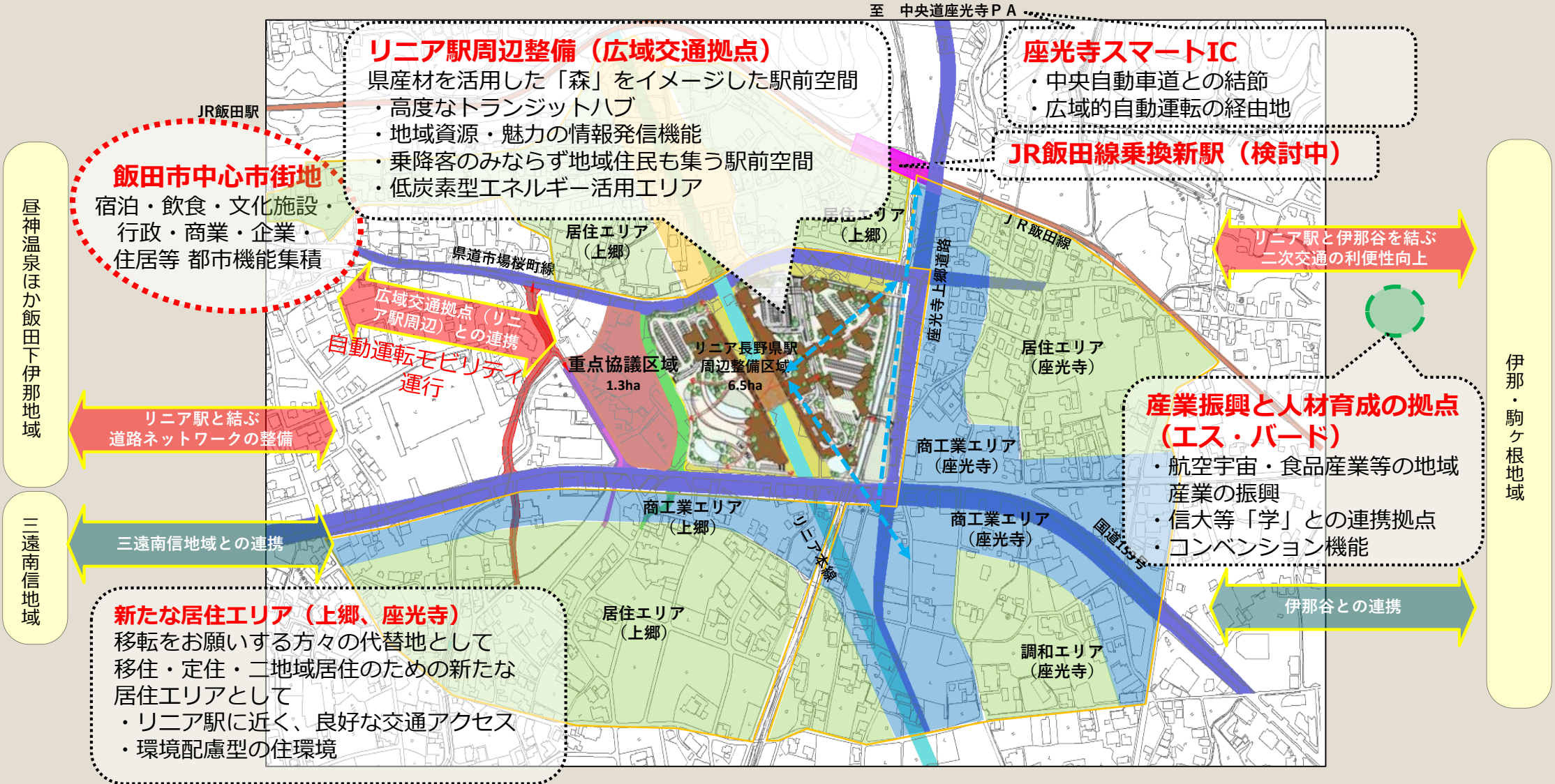


リニア効果を如何に県内各地・伊那谷全体に広く波及させるか、さらには、三遠南信連携を意識した「縦」の連携の視点を持って、リニア駅周辺整備や「新施設」を考える必要

+α

○リニア駅周辺におけるまちづくり

「田園型の学術研究都市」のコアエリア



○南信州地域を取り巻く状況と問題意識

- 人口減少、少子高齢化、若者の流出という地域課題にどう向き合うか
- リニアが通ることによる当地域の立地ポテンシャル（3大都市圏からの時間距離の短縮、アクセスバランスの良さ等）をどう活かすか
- リニア開通により形成される「スーパー・メガリージョン」「ナレッジ・リンク」の中で、日本全体さらには世界に対して存在価値を発揮できるか

○考える視点

- ・ リニア時代には、時間距離としては大都市圏の一部でありながら、自然環境と良質なコミュニティを基盤として「豊かな暮らし」ができることが当地域の最大の魅力（強み）
 - ⇒ 「暮らしの質」を高めることが若者の回帰、移住・定住の促進につながる
 - ⇒ この地域の「暮らしの質」の向上に資する施設を考えるという視点
- ・ 外から人を呼び込むためにコンベンション施設等を整備すべきという考え方もあるが、コンベンション等は人を呼び込む「手段」の1つに過ぎない。
 - ⇒ 「施設ありき」でコンベンション等の誘致に汲々とするのではなく、当地域を訪れる必然性を創る（価値を発信・創造する）ことが肝要

◎ 「コンベンション」「屋内体育施設」という枠にとらわれず、
この地域の「暮らしの質」を向上させ、
国内外の人が注目する「価値を発信・創造する」
ような施設を創るつもりで考える

○暮らしの質の向上

⇒ 「地域課題の解決」＋「未来への期待（ワクワク感）」

○価値の発信・創造

⇒ ・ここにしかない文化や住民活動、地域づくり等を全国・世界に発信
・「学びの土壌」 × 大都市圏や世界との交流 = 新たな価値の創造

○既成概念にとらわれない

○顕在化していない（潜在的な）住民ニーズを汲み取る

施設整備の大きな方向性は、

◎ここで暮らすことを自慢したくなる「誇りや自信を創造する」

◎国内外から人が訪れたくなる「価値を発信・創造する」

加えて、コスト意識（事業性）は、イニシャル・ランニングともに極めて重要

⇒民間事業者の参画を積極的に追求する

○方向性を実現するためのコンセプト

- ・ リニア時代の「スーパー・メガリージョン」「ナレッジリンク」の中で、他地域とは異なる学術研究都市を目指し、当地域の強みである「学びの土壌」を活かす（＝「田園型の学術研究都市」構想）
- ・ 長野県・伊那谷全体さらには三遠南信地域まで含む「縦軸」の連携において、伝統文化・民俗芸能は重要なコンテンツ



- ・ スポーツや芸術文化を「学ぶ」環境を充実させることで、住民（特に若い世代）の誇りや自信を創造する
- ・ この地域の伝統芸能や文化活動など「学ぶ」に値する価値を国内外に発信する
- ・ 公民館活動に代表される「学びの土壌」をベースとした交流と体験を通じた能動的な「学び」により、新たな価値を創造する
- * 「一か所完結型」ではなく、圏域内外の施設と連携して一体として方向性を実現（＝ベースキャンプ）

○施設の具体的イメージ

※ここでは、「周囲を観客席で囲まれた多目的利用可能な平らな床面」を「アリーナ」と表現している

- ・「ベースキャンプ」として圏域内外の施設と連携して一体として方向性を実現するために、新施設イメージは「アリーナ[※]機能を中心とする複合施設」とする

【主に次のようなコンテンツを担うことを想定】

- ・子ども・青少年がプロスポーツに触れ、各種スポーツを本格的に学べるような市町村・校区を超えたクラブチームの拠点となる
- ・リニアの利便性を活かして首都圏からプロの指導者が訪れ、ワールドクラスを目指せる環境を整備
- ・パラスポーツ、シニアスポーツ（健康長寿の里）の拠点となる
- ・時には、大規模なスポーツ大会やイベント・コンサート、コンベンションを開催

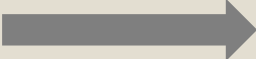


他施設と連携して、方向性を実現

産業振興と人材育成の拠点（エス・バード）・・・500人規模までのコンベンション・展示会、多数の会議室を要する学会等
飯田文化会館・・・本格的音楽鑑賞など引き続き当地域の芸術・文化の拠点となる劇場型ホール
圏域内外の体育施設
圏域内外の文化施設
圏域内外の公民館 など

○他地域・機関との連携

- ・連携する施設との機能の重複を避け、過剰な投資とならないよう棲み分けを図る。
- ・圏域内外の体育施設・文化施設・公民館と、移動手段も含め、有機的に連携する。
- ・宿泊機能については、近接・近隣に民間投資を促すとともに、既存のホテル・旅館との連携を可能にする交通連携を検討する。特に、宿泊・飲食機能が集積している飯田市中心市街地（丘の上）や昼神温泉、さらには伊那・駒ヶ根との交通連携については重点的に検討する。
また、この地域の特色である農家民泊も「学び」の要素として積極的に連携させる。
- ・圏域外からの利用者に対しては、周辺地域にある観光リゾート機能、農林業を含むホンモノ体験のアクティビティ、南アルプス・中央アルプスなどとの連携により、広域的な波及効果の拡大を図る。
- ・観光や物産などの地域資源に関する情報発信機能は、リニア駅周辺整備において主に担うが、「学び」のアクティビティが特徴となっている「銀座NAGANO」のような要素を複合させることも検討。
- ・国内外の関係機関と積極的な連携を図る。また、東京都内・名古屋市内に立地している機関については、誘致を視野に入れる。

 地域づくりを推進する構想(ビジョン)の重要なテーマとなる。

○今後の取組み、留意点①

●地域づくりを推進する構想(ビジョン)の策定

- リニア開通効果を地域振興に活かす観点から、アリーナ機能単体ではなく、リニア駅周辺整備、エス・バード、飯田文化会館等と連携して地域づくりを推進する構想(ビジョン)を描く必要がある。
- 国、県、市町村、隣接地域等の計画、取組みとも連携したビジョンとする必要がある。
- 新施設の在り方について「スポーツ文化の醸成」の観点で、圏域全体で機運を高める取組みを行う必要がある。
- リニア開業効果を取り込むことができる新施設像について、民間の考え方の導入や関係する団体等との連携が必要。

●施設の建設・運営の方式

- 南信州広域連合が事業主体となる公設公営方式は難しい。
- 民設民営方式か公設民営方式で進めるうえで、参画いただける民間事業者の十分な調査と確保が最重要課題。

○今後の取組み、留意点②

●利用形態

- 子どもたちに本格的なスポーツに接する機会を提供し、地域のスポーツ文化の醸成につながるような利用形態を想定。
- 施設整備と連携して、プロスポーツ誘致等のスポーツ振興を図るためのソフト展開を、圏域全体で取り組む。

●施設規模

- プロスポーツ等の興行を中心とする「観る」場所としてのメインアリーナ、地域住民等がスポーツを行う「する」場所としてのサブアリーナを基本に位置付け、身の丈に合った施設とし、過剰な規模としないことを前提とする。

●立地条件の整理と候補地の絞り込み

- リニア中央新幹線の利用も考慮し、アクセスの観点からリニア駅近郊の立地を想定。市町村から提案のあったリニア駅近郊の候補地は大事な要素。
- 当地域の交通事情等に鑑み、相当規模の駐車場の確保は必要。

○今後の取組み、留意点③

●概算事業費、財源

- 地域負担が過大とならないような十分な検討が必要。
- 参画いただけの民間事業者との十分な議論が必要。
- 施設の建設・運営の方式の検討と連動して検討を進めることが必要。
- 国県等の支援をどのように受けるかは重要な視点。

●開設時期

- リニア開業後の状況を見るべき等様々な意見があるため、整備時期については慎重な検討が必要。